表2-1　平成27年度行政研修実施状況

研修名	回次	研修期間		研修修了者数（人）			
					うち独立行政法人等	うち民間企業等	うち外国政府
国家公務員合同初任研修	第49回	合宿	4.8～4.10	732	2	－	－
初任行政研修	Aコース	合宿 通勤 出張	5.11～6.12	135	－	－	－
	Bコース		5.18～6.19	132	－	－	－
	Cコース		5.25～6.26	123	－	－	－
	Dコース		6.1～7.3	132	－	－	－
	Eコース		6.15～7.17	101	－	－	－
3年目フォローアップ研修	Aコース	合宿	8.25～8.28	101	－	※2	－
	Bコース		9.29～10.2	89	－	※1	－
	Cコース		10.13～10.16	101	2	※1	－
	Dコース		10.27～10.30	105	－	※3	－
行政研修（課長補佐級）	第250回	合宿	7.28～7.31	56	2	11	－
	第251回	通勤	8.25～8.28	48	2	8	－
	第252回	合宿	9.1～9.4	41	2	10	－
	第253回	通勤	9.8～9.11	48	2	7	－
	第254回		11.24～11.27	56	2	8	－
	第255回	合宿	12.8～12.11	47	1	9	2
	第256回		1.19～1.22	51	2	10	2
行政研修（課長補佐級）国際コース	第3回	通勤 合宿	2.3 2.17～2.19	40	－	2	19
行政研修（課長補佐級）女性管理職養成コース	第2回	通勤	1.18 2.5 2.26 3.4	15	－	－	2
行政研修（課長補佐級） 中国派遣コース		通勤 合宿 通勤	10.14 11.6 11.10～11.17 12.15	14	－	－	－
行政研修（課長補佐級） 韓国中央公務員教育院派遣コース	第10回	通勤 合宿 通勤	9.15 10.19～10.23 11.20	14	－	－	－
行政研修（課長補佐級） リーダーシップ研修		通勤 合宿 通勤 合宿 通勤	8.18 8.20～8.21 9.11 9.16 9.17～9.18 10.21～10.24 11.26～11.27 1.8	20	－	－	－
行政研修（課長級）	第218回	合宿	7.22～7.24	41	2	15	－
	第219回（マネジメントコース）		11.10～11.13	33	1	11	－
	第220回（現場訪問コース）	通勤 合宿 通勤	12.16 1.13～1.15 1.25	22	－	－	－
行政研修（係員級特別課程）	第21回	通勤 合宿	9.1～9.3 9.7～9.11	38	－	－	－
	第22回	合宿	11.16～11.20	32	－	－	－
	第23回	合宿	2.8～2.10 2.15～2.19	38	－	－	－
行政研修（係長級特別課程）	第38回	合宿	11.4～11.6 11.9～11.13	37	－	－	－
	第39回	通勤	12.2～12.4 12.7～12.11	45	－	－	－
	第40回	通勤 合宿	1.25～1.27 2.1～2.5	48	－	－	－
行政研修（課長補佐級特別課程）	第27回	通勤 合宿	9.28～9.30 10.5～10.9	33	－	－	－
	第28回	合宿	2.22～2.26	39	－	－	－
行政フォーラム	第137回	通勤	4.15	43	3	－	－
	第138回		5.13	67	3	－	－
	第139回		7.31	21	2	－	－
	第140回		9.25	49	2	－	－
	第141回		10.28	78	2	－	－
	第142回		11.27	54	－	－	－
	第143回		12.16	55	2	－	－
	第144回		1.13	80	2	－	－
	第145回		2.12	50	1	－	－
幹部行政官セミナー（アスペンメソッド）		合宿	8.4～8.7	12	－	6	－

（注）　※地方公共団体からの参加者数であり、いずれも各府省から地方公共団体へ出向中の者である。

表2-2　平成27年度初任行政研修のカリキュラム

分類	科目	時間数	ねらい
国民全体の奉仕者としての使命と職責について考える	公務員の在り方	4.5	各府省の事務次官等から、行政官としての心構え等に関する講義を聞いた上で、期待される国家公務員の在り方について、レポートにまとめることにより、国家公務員としての自覚と使命感を醸成する。
	公務員倫理を考える	2.5	事例研究などを通じて、倫理的な行動の在り方について検討し、実践への動機付けを図る。
	読書研究	3.5	行政官が学ぶにふさわしい課題を取り扱った著作を読み、与えられた課題や論点等について自ら考え、討議、意見交換を行うことにより、行政官として必要な深い思索力をかん養する。また、物事の根源に立ち返って考えることや、じっくりと深く考え抜くことの重要性を理解させる。
	人権	2.5	人権問題に直面した者から自らの経験に基づく話を聞き、我が国が抱える人権問題の現状を認識するとともに、基本的人権に対する意識を高める。
公共政策の在り方を多角的に検証し考える	政策課題研究	17.5	府省横断的な政策課題について調査研究を行い、縦割りを超えた班別討議及び長期的展望に立った具体的な政策提言を通じて、国民全体の奉仕者としての自覚、問題発見能力、問題解決能力、表現力等行政官として求められる資質をかん養する。
	行政政策事例研究	17.0	歴史的意義の大きい過去の行政事例を題材として、当時の困難な状況の下で取るべき方策を模索した関係者から話を聞き、批判的な視点も含めて多角的な立場から見た「行政官として取るべき行動」について、率直かつ自由に討議することで、行政官としての使命感や識見、問題解決能力をかん養する。
	政策形成の実際と公務員	2.0	各府省が取り組んだ行政課題を題材とし、政策形成に関する講義及び質疑を通じて、実際の政策形成に当たって必要となる視点と手続、関係者との調整の在り方、マスコミとの関係等について学ぶ。
	政策ディベート	13.5	論題について、本来の自分の主張ではなく対立している立場からも立論し、相手の反論に抗しつつ自分の立場の主張を受け入れてもらえるよう説得することや、審判として双方の立論の論理性や説得力を客観的に判断することを通じて、幅広い視点から物事をとらえる力を養うとともに、相手の意見を的確に把握する力や効果的な説明手法を身に付ける。
	特別講義	2.5	行政課題に関する講義、意見交換を通じ、国民全体の視点から施策を行うための素養、見識を養う。
公正な公務運営について学ぶ	健康管理	1.5	体操等を行うことにより、健康を増進させ、規律ある生活習慣を身に付けさせるとともに、研修員相互の一体感を醸成する。
体験を通して行政の在り方を考える	介護等実地体験	47.5	社会福祉施設で介護補助業務等を実地に体験し、利用者との交流やスタッフとの意見交換を通じて、現在、政府が重要政策として取り組む福祉の現場を知り、その現状や実態への理解を深めるとともに、社会や地域のあるべき姿、ボランティア活動の役割や機能、建物・道路等の公共施設の整備の在り方等について、所属する府省の枠を超えた広い立場から学び、国民のニーズと行政の関わり方等について認識を深める。また、行政サービスの受け手である国民の立場に立って、ものを見ることの重要性を学び、国民全体の奉仕者である公務員としての自覚を高める。
	地方自治体実地体験又は被災地復興支援プログラム	44.5	地方自治体の現場を見て、話を聞き、実務を体験したり、地域住民との意見交換を行うこと等を通じ、地方自治体の実態、国と地方との関係、地域の多様性、生活実態、住民の意識やニーズ等について認識を深める。被災地復興支援プログラムは被災地における活動、被災住民との意見交換等を通じ、被災地の実態、被災住民の意識やニーズ等について理解を深め、復興に向けた行政やNPOなどの取組を考える。
	現場訪問	8.5	中小企業、NPO等を訪問し、関係者との意見交換等を通じて、政策立案を行う上で現場を知ることの重要性を学ぶ。また、行政が直面する諸課題について認識を深めるとともに、行政の役割・在り方について考える。
	国際行政の現場	2.5	国際的な業務の最前線で活躍した経験に基づく話を聞き、国際情勢や我が国の置かれている立場、国際協力の在り方や諸外国との関係などについて認識を深める。
	外国から見た日本への期待	3.0	駐日在外公館職員から、外交交渉の場における日本政府との折衝や実際に日本で暮らした経験を踏まえた上で、外国の視点から見て日本がこれから国際社会において果たすことを期待される役割、日本と外国との相互理解・協力を増進するため心がけるべきことなどについて、理解を深める。
諸行事	開・閉講式、オリエンテーション等	8.5	
合　計　181.5時間			

（注）　それぞれの科目につき、講義、討議、実習等の技法を組み合わせて実施している。